



# まちの話題



3/25

## 昭和へき地保育所 閉所式

昭和へき地保育所は、今春に卒園する園児を最後に入所する園児がいなくなることから地域との協議を重ね、52年の歴史に幕を下ろしました。同保育所で行われた閉所式には関係者22人が出席。最後の卒園児である岩城陽大さんと庄司倫祥さんが、保育士の2人と一緒にお揃いのオレンジ色の法被を着て、「昭和太鼓」を披露しました。元気いっぱいのかげ声と力強い太鼓の音に大きな拍手が送られました。



4/1

## 地域おこし協力隊 に横山智也さん

1日から新たな地域おこし協力隊として横山智也さんが着任しました。横山さんは北海道十勝スカイアースでサイドバックを務めています。以前は神奈川県におり、北海道は初めてだそうです。今後の活動目標は「少年団や幼稚園の皆さんに、サッカーの楽しさを伝えること」。これからサッカー教室のほか、Hero'sでだけが予防や運動不足解消の指導を行うなど、さまざまなところで活動予定です。



2022.5



おとふけ 22

3/15

ものまねと軽快なトークで  
笑いと拍手の渦に



タレントの清水ミチコさんの「トーク&ライブ2022」が文化センターで開催され、約400人が来場しました。著名な政治家のものまねやさまざまな世代のヒットソングの歌まねなどを披露し、会場を盛り上げました。清水さんは「音更町は景色がきれいで食べ物も美味しくとてもいい町。また訪れてみたい」と話していました。

3/17

おいしい中華まんの  
出来上がり



ふれあい交流館で中華まんづくり教室が行われました。参加した6人は、講師である観月苑料理人の高野政美さんから肉まんとおんまんの作り方を学びました。十勝産小麦を使って作った皮が破れないよう丁寧に具を包んで蒸しあげると生地がもちもち、中身はジューシーな中華まんが完成。参加者は食べるのを楽しみに、ほくほく笑顔で持ち帰りました。

3/23

1粒1粒丁寧に並べた  
豆アートを道の駅で展示



音更小学校3年生が総合の時間を使い、作成した豆アートを役場に持参しました。豆アートとは図面に沿って豆を1粒1粒丁寧に並べて作った作品です。自分たちで育てた音更大袖振大豆ほか農協からもらった豆を使い作成した豆アートを学級委員長の渋谷眺希さん、山田帆葉さん、川端朔矢さん（左から）から預かり、現在、道の駅おとふけで展示中です。

3/23

音更高校の生徒と  
まちの魅力語り合う



オープン前の道の駅おとふけで、音更高校の1・2年生13人を迎えタウンミーティングを開催。生徒が普段から感じている町や高校の魅力について話し、町長らと意見交換を行いました。生徒からは季節に合わせたイベント開催などの提案があり、小野町長は「とてもいいアイデアをいただいた。音更町の魅力発信に生かしていきたい」と話しました。